

ノロウイルスによる感染性胃腸炎にご注意！

ノロウイルスはヒトの小腸で増殖するウイルスで、非常に強い感染力をもっています。毎年、冬季に流行しますが、一年を通して発生しています。

症状

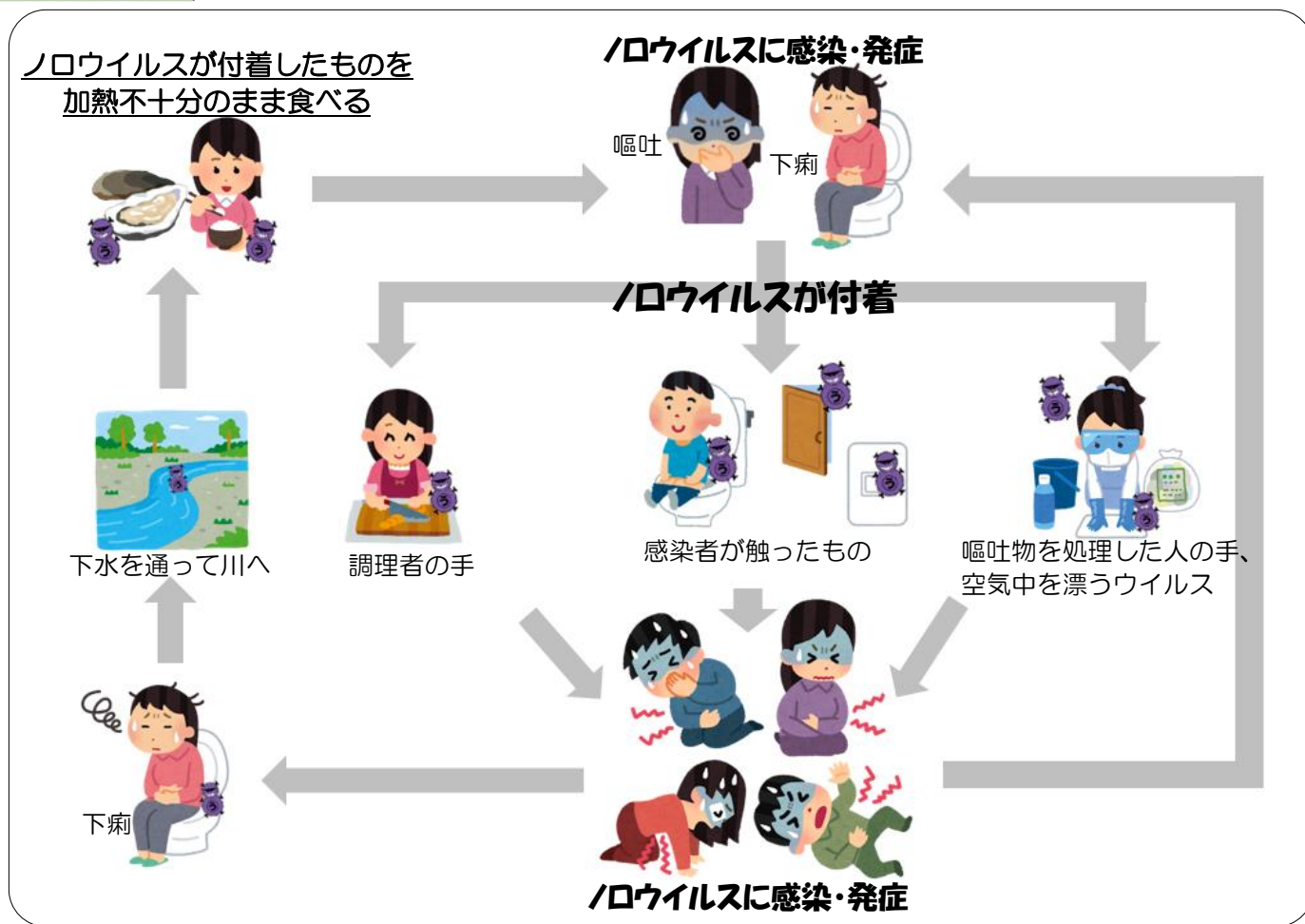
潜伏期間は24～48時間です。

主な症状は吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱で、通常3日以内に回復します。

感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。

持病のある人や乳幼児、高齢者などは症状が重くなるケースもあるので要注意です。

感染経路



感染予防

- ・カキなどの二枚貝は十分に加熱しましょう。（目安は中心部が85℃～90℃で90秒以上）
- ・野菜や果物などはしっかり洗浄しましょう。
- ・トイレ使用后、調理の前後、食事前にはしっかり手を洗いましょう。
- ・手を洗った後は清潔なタオルで水分を拭き取りましょう。

もし感染してしまったら？

胃腸炎のような症状がある場合は医療機関を受診し、医師の指示に従って治療しましょう。
※下痢止めは回復を遅らせることがあるので、自己判断で薬を服用することはやめましょう。
※乳幼児や高齢者は脱水症状を起こしやすいため、注意しましょう。

消毒方法について

感染者の嘔吐物や便には、ノロウイルスが含まれています。
ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、これが口に入ることで感染することもあるため、
嘔吐物等は速やかに処理することが大切です！



●消毒方法

- ① 部屋を換気する
- ② 必要物品を準備する

【準備物】

エプロン・マスク・手袋・ペーパータオル（新聞紙）・ビニール袋・次亜塩素酸ナトリウム

- ③ エプロン・マスク・手袋を着用する
- ④ 嘔吐物をペーパータオルで外側から内側へ集めるようにして拭き取り、ビニール袋に入れる
- ⑤ 嘔吐物から半径 2m 以内の場所をペーパータオルで覆い、消毒液をかける。**約 10 分間浸す**
- ⑥ ペーパータオルを外側から内側へ集めるようにして拭き取り、ビニール袋に入れる
- ⑦ 消毒した場所を水拭きする
- ⑧ 汚物を入れたビニール袋は空気を抜かずに口を縛る
- ⑨ 処理後はしっかりと手を洗う

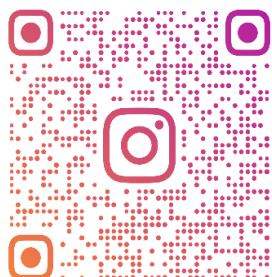


●次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方

消毒する場所・物	次亜塩素酸ナトリウム 消毒液の濃度	消毒液の作り方	
		原液濃度が5～6%	原液濃度が1%
嘔吐物や便の処理	約0.1%	原液 10ml 水 500ml	原液 10ml 水 100ml
調理器具・ドアノブ・衣服	約0.02%	原液 10ml 水 2.5L	原液 10ml 水 500ml

注意点！

- ・皮膚への刺激が強いため、手指・皮膚の消毒には使用しないようにしましょう。
- ・金属を腐食させるため、金属には原則使用しないようにしましょう。



KENPOKU.KANSEN

感染症情報を
発信しています
ぜひ、フォロー
してください☆

発行日:令和 6 年 10 月17日
発行元:福島県県北保健所医療薬事課
住所 〒960-8012 福島市御山町8-30
電話 024-534-4108

ホームページ:検索キーワード

県北保健所